

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-83148 (P2002-83148A)  
 【公開日】平成 14 年 3 月 22 日 (2002.3.22)  
 【出願番号】特願 2000-270429 (P2000-270429)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/60  
 G 0 6 F 3/00  
 G 0 6 F 3/14  
 G 0 6 F 13/00  
 G 0 6 F 17/21  
 G 0 6 F 17/30

【F I】

G 0 6 F	17/60	3 0 2 E
G 0 6 F	17/60	Z E C
G 0 6 F	17/60	3 3 6
G 0 6 F	3/00	6 5 1 C
G 0 6 F	3/14	3 1 0 C
G 0 6 F	13/00	5 5 0 C
G 0 6 F	17/21	5 3 0 E
G 0 6 F	17/30	1 1 0 F

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 4 月 27 日 (2004.4.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

閲覧可能な閲覧情報を配信するシステムにおいて、  
 前記閲覧情報の出力レイアウトに関するレイアウト情報を複数記憶したレイアウト情報記憶手段を備え、  
 ユーザ情報及び前記レイアウト情報の選択を入力し、入力したユーザ情報を前記選択したレイアウト情報と対応付けて前記レイアウト情報記憶手段に登録し、前記レイアウト情報記憶手段のレイアウト情報に基づいて、前記閲覧情報の出力レイアウトを決定して前記閲覧情報を作成するようになっていることを特徴とする閲覧情報作成システム。

【請求項 2】

請求項 1 において、  
 前記ユーザ情報は、前記ユーザが閲覧を希望する閲覧情報に関する閲覧希望情報を含み、  
 前記閲覧情報を複数記憶した閲覧情報記憶手段を備え、  
 前記閲覧希望情報及びそれに対応するレイアウト情報を前記レイアウト情報記憶手段から読み出し、読み出した閲覧希望情報に基づいて、前記閲覧情報記憶手段のなかから前記閲覧情報を選択し、前記読み出したレイアウト情報に基づいて、前記選択した閲覧情報について出力レイアウトを決定して前記閲覧情報を作成するようになっていることを特徴とする閲覧情報作成システム。

【請求項 3】

ディジタルコンテンツを配信するシステムにおいて、  
前記ディジタルコンテンツの出力レイアウトに関するレイアウト情報を複数記憶したレイアウト情報記憶手段と、前記ディジタルコンテンツの配信先アドレスを含むユーザ情報及び前記レイアウト情報の選択を入力する入力手段と、前記入力手段で入力したユーザ情報を前記入力手段で選択したレイアウト情報と対応付けて前記レイアウト情報記憶手段に登録する登録手段と、前記レイアウト情報記憶手段のレイアウト情報に基づいて前記ディジタルコンテンツの出力レイアウトを決定して前記ディジタルコンテンツを作成するコンテンツ作成手段と、前記コンテンツ作成手段で作成に用いたレイアウト情報に対応する配信先アドレスに基づいて前記コンテンツ作成手段で作成したディジタルコンテンツを配信するコンテンツ配信手段とを備えることを特徴とするディジタルコンテンツ配信システム。

【請求項 4】

請求項 3 において、  
前記ユーザ情報は、前記ユーザが配信を希望するディジタルコンテンツに関するコンテンツ情報を含み、  
前記ディジタルコンテンツを複数記憶したコンテンツ記憶手段を備え、  
前記コンテンツ作成手段は、前記コンテンツ情報及びそれに対応するレイアウト情報を前記レイアウト情報記憶手段から読み出し、読み出したコンテンツ情報に基づいて、前記コンテンツ記憶手段のなかから前記ディジタルコンテンツを選択し、前記読み出したレイアウト情報に基づいて、前記選択したディジタルコンテンツについて出力レイアウトを決定して前記ディジタルコンテンツを作成するようになっていることを特徴とするディジタルコンテンツ配信システム。

【請求項 5】

請求項 3 及び 4 のいずれかにおいて、  
前記ユーザ情報は、前記ユーザが配信を希望する時間帯に関するスケジュール情報を含み、  
前記コンテンツ配信手段は、前記コンテンツ作成手段で作成に用いたレイアウト情報に対応するスケジュール情報に基づいて、前記コンテンツ作成手段で作成したディジタルコンテンツを配信するようになっていることを特徴とするディジタルコンテンツ配信システム。

【請求項 6】

閲覧可能な閲覧情報を配信するコンテンツ配信端末において、  
前記閲覧情報の出力レイアウトに関するレイアウト情報を複数記憶したレイアウト情報記憶手段を備え、  
ユーザ情報及び前記レイアウト情報の選択を入力し、入力したユーザ情報を前記選択したレイアウト情報と対応付けて前記レイアウト情報記憶手段に登録し、前記レイアウト情報記憶手段のレイアウト情報に基づいて、前記閲覧情報の出力レイアウトを決定して前記閲覧情報を作成するようになっていることを特徴とするコンテンツ配信端末。

【請求項 7】

請求項 6 において、  
前記ユーザ情報は、前記ユーザが閲覧を希望する閲覧情報に関する閲覧希望情報を含み、  
前記閲覧情報を複数記憶した閲覧情報記憶手段を備え、  
前記閲覧希望情報及びそれに対応するレイアウト情報を前記レイアウト情報記憶手段から読み出し、読み出した閲覧希望情報に基づいて、前記閲覧情報記憶手段のなかから前記閲覧情報を選択し、前記読み出したレイアウト情報に基づいて、前記選択した閲覧情報について出力レイアウトを決定して前記閲覧情報を作成するようになっていることを特徴とするコンテンツ配信端末。

【請求項 8】

ディジタルコンテンツを配信するコンテンツ配信端末において、  
前記ディジタルコンテンツの出力レイアウトに関するレイアウト情報を複数記憶したレ

レイアウト情報記憶手段と、前記デジタルコンテンツの配信先アドレスを含むユーザ情報及び前記レイアウト情報の選択を入力する入力手段と、前記入力手段で入力したユーザ情報を前記入力手段で選択したレイアウト情報と対応付けて前記レイアウト情報記憶手段に登録する登録手段と、前記レイアウト情報記憶手段のレイアウト情報に基づいて前記デジタルコンテンツの出力レイアウトを決定して前記デジタルコンテンツを作成するコンテンツ作成手段と、前記コンテンツ作成手段で作成に用いたレイアウト情報に対応する配信先アドレスに基づいて前記コンテンツ作成手段で作成したデジタルコンテンツを配信するコンテンツ配信手段とを備えることを特徴とするコンテンツ配信端末。

【請求項 9】

請求項 8 において、

前記ユーザ情報は、前記ユーザが配信を希望するデジタルコンテンツに関するコンテンツ情報を含み、

前記デジタルコンテンツを複数記憶したコンテンツ記憶手段を備え、

前記コンテンツ作成手段は、前記コンテンツ情報及びそれに対応するレイアウト情報を前記レイアウト情報記憶手段から読み出し、読み出したコンテンツ情報に基づいて、前記コンテンツ記憶手段のなかから前記デジタルコンテンツを選択し、前記読み出したレイアウト情報に基づいて、前記選択したデジタルコンテンツについて出力レイアウトを決定して前記デジタルコンテンツを作成するようになっていることを特徴とするコンテンツ配信端末。

【請求項 10】

請求項 8 及び 9 のいずれかにおいて、

前記ユーザ情報は、前記ユーザが配信を希望する時間帯に関するスケジュール情報を含み、

前記コンテンツ配信手段は、前記コンテンツ作成手段で作成に用いたレイアウト情報に対応するスケジュール情報に基づいて、前記コンテンツ作成手段で作成したデジタルコンテンツを配信するようになっていることを特徴とするコンテンツ配信端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、出力レイアウトには、閲覧情報を画面上に表示する場合の表示レイアウト、または閲覧情報を紙面上に印刷する場合の印刷レイアウトが含まれる。以下、請求項 6 記載のコンテンツ配信端末において同じである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、作成した閲覧情報は、ユーザに配信するようにしてもよいし、ユーザがクライアント端末からアクセスして取得できるように記憶手段に格納するようにしてもよい。以下、請求項 6 記載のコンテンツ配信端末において同じである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

ここで、出力レイアウトには、デジタルコンテンツを画面上に表示する場合の表示レイアウト、またはデジタルコンテンツを紙面上に印刷する場合の印刷レイアウトが含まれる。以下、請求項 8 記載のコンテンツ配信端末において同じである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

これにより、ユーザの希望に比較的沿った時間帯にデジタルコンテンツが配信されるので、従来に比して、ユーザにとって満足度の高い配信サービスを提供することができる。

一方、上記目的を達成するために、本発明に係る請求項 6 記載のコンテンツ配信端末は、閲覧可能な閲覧情報を配信するコンテンツ配信端末において、前記閲覧情報の出力レイアウトに関するレイアウト情報を複数記憶したレイアウト情報記憶手段を備え、ユーザ情報および前記レイアウト情報の選択を入力し、入力したユーザ情報を前記選択したレイアウト情報と対応付けて前記レイアウト情報記憶手段に登録し、前記レイアウト情報記憶手段のレイアウト情報に基づいて、前記閲覧情報の出力レイアウトを決定して前記閲覧情報を作成するようになっている。

このような構成であれば、請求項 1 記載の閲覧情報作成システムと同等の作用および効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 7 記載のコンテンツ配信端末は、請求項 6 記載のコンテンツ配信端末において、前記ユーザ情報は、前記ユーザが閲覧を希望する閲覧情報に関する閲覧希望情報を含み、前記閲覧情報を複数記憶した閲覧情報記憶手段を備え、前記閲覧希望情報およびそれに対応するレイアウト情報を前記レイアウト情報記憶手段から読み出し、読み出した閲覧希望情報に基づいて、前記閲覧情報記憶手段のなかから前記閲覧情報を選択し、前記読み出したレイアウト情報に基づいて、前記選択した閲覧情報について出力レイアウトを決定して前記閲覧情報を作成するようになっている。

このような構成であれば、請求項 2 記載の閲覧情報作成システムと同等の作用および効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 8 記載のコンテンツ配信端末は、デジタルコンテンツを配信するコンテンツ配信端末において、前記デジタルコンテンツの出力レイアウトに関するレイアウト情報を複数記憶したレイアウト情報記憶手段と、前記デジタルコンテンツの配信先アドレスを含むユーザ情報および前記レイアウト情報の選択を入力する入力手段と、前記入力手段で入力したユーザ情報を前記入力手段で選択したレイアウト情報と対応付けて前記レイアウト情報記憶手段に登録する登録手段と、前記レイアウト情報記憶手段のレイアウト情報に基づいて前記デジタルコンテンツの出力レイアウトを決定して前記デジタルコンテンツを作成するコンテンツ作成手段と、前記コンテンツ作成手段で作成に用いたレイアウト情報に対応する配信先アドレスに基づいて前記コンテンツ作成手段で作成したデジタルコンテンツを配信するコンテンツ配信手段とを備える。

このような構成であれば、請求項 3 記載のデジタルコンテンツ配信システムと同等の作用および効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 9 記載のコンテンツ配信端末は、請求項 8 記載のコンテンツ配信端末において、前記ユーザ情報は、前記ユーザが配信を希望するデジタルコンテンツに関するコンテンツ情報を含み、前記デジタルコンテンツを複数記憶したコンテンツ記憶手段を備え、前記コンテンツ作成手段は、前記コンテンツ情報およびそれに対応するレイアウト情報を前記レイアウト情報記憶手段から読み出し、読み出したコンテンツ情報に基づいて、前記コンテンツ記憶手段のなかから前記デジタルコンテンツを選択し、前記読み出したレイアウト情報に基づいて、前記選択したデジタルコンテンツについて出力レイアウトを決定して前記デジタルコンテンツを作成するようになっている。

このような構成であれば、請求項 4 記載のデジタルコンテンツ配信システムと同等の作用および効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 10 記載のコンテンツ配信端末は、請求項 8 および 9 のいずれかに記載のコンテンツ配信端末において、前記ユーザ情報は、前記ユーザが配信を希望する時間帯に関するスケジュール情報を含み、前記コンテンツ配信手段は、前記コンテンツ作成手段で作成に用いたレイアウト情報に対応するスケジュール情報に基づいて、前記コンテンツ作成手段で作成したデジタルコンテンツを配信するようになっている。

このような構成であれば、請求項 5 記載のデジタルコンテンツ配信システムと同等の作用および効果が得られる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

インターネット 199 には、図 1 に示すように、デジタルコンテンツを提供する複数のコンテンツ提供端末 S1 ~ Sn と、コンテンツ提供端末 S1 ~ Sn から提供されたデジタルコンテンツを収集蓄積して配信するコンテンツ配信端末 100 と、ユーザの利用に供するユーザ端末 200 とが接続されている。なお、発明の理解を容易にするため、ユーザ端末 200 を一台しか図示していないが、実際には、複数のユーザ端末がインターネット 199 に接続されている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

コンテンツ配信端末 100 では、配信開始要求を受信すると、ステップ S100 ~ S120 を経て、これまでに受信したコンテンツの指定、ユーザ ID 等および出力レイアウト等の指定がユーザプロファイルテーブル 300 に登録される。このとき、コンテンツの指定は、カテゴリ No. 対応テーブル 340 を参照してカテゴリ No. として登録され、出力レイアウトの指定は、レイアウト No. 対応テーブル 330 を参照してレイアウト No. として登録される。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

さらに、本実施の形態では、コンテンツ配信端末 100 は、デジタルコンテンツを複数記憶したコンテンツ登録 DB 42 を備え、カテゴリ No. およびそれに対応するレイアウト定義ファイルをユーザ情報登録 DB 40 から読み出し、読み出したカテゴリ No. に基づいて、コンテンツ登録 DB 42 のなかからデジタルコンテンツを選択し、読み出したレイアウト定義ファイルに基づいて、選択したデジタルコンテンツについて出力レイアウトを決定してデジタルコンテンツを作成するようになっている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 9 1 】

上記実施の形態において、デジタルコンテンツは、請求項 1 または 6 記載の閲覧情報に対応し、レイアウト定義ファイルは、請求項 1 ないし 1 0 記載のレイアウト情報に対応し、カテゴリ No.は、請求項 4 または 9 記載のコンテンツ情報に対応し、配信日および配信時刻は、請求項 5 または 1 0 記載のスケジュール情報に対応している。また、ユーザ情報登録 DB 4 0 は、請求項 1 ないし 4 、または 5 ないし 9 記載のレイアウト情報記憶手段に対応し、ステップ S 1 0 0 ~ S 1 1 2 は、請求項 3 または 8 記載の入力手段に対応し、ステップ S 1 1 4 は、請求項 3 または 8 記載の登録手段に対応し、ステップ S 2 1 2 は、請求項 3 ないし 5 、または 8 ないし 1 0 記載のコンテンツ作成手段に対応し、ステップ S 2 1 6 は、請求項 3 、 5 、 8 または 1 0 記載のコンテンツ配信手段に対応している。

## 【 手 続 補 正 1 0 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 0 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 1 0 0 】

さらに、本発明に係る請求項 5 記載のデジタルコンテンツ配信システムによれば、ユーザの希望に比較的沿った時間帯にデジタルコンテンツが配信されるので、従来に比して、ユーザにとって満足度の高い配信サービスを提供することができるという効果も得られる。

一方、本発明に係る請求項 6 記載のコンテンツ配信端末によれば、請求項 1 記載の閲覧情報作成システムと同等の効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 7 記載のコンテンツ配信端末によれば、請求項 2 記載の閲覧情報作成システムと同等の効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 8 記載のコンテンツ配信端末によれば、請求項 3 記載のデジタルコンテンツ配信システムと同等の効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 9 記載のコンテンツ配信端末によれば、請求項 4 記載のデジタルコンテンツ配信システムと同等の効果が得られる。

さらに、本発明に係る請求項 1 0 記載のコンテンツ配信端末によれば、請求項 5 記載のデジタルコンテンツ配信システムと同等の効果が得られる。